

三位一体の主日の説教

金 大烈 神父 2009年6月7日(日)

《三位一体の関係》

おはようございます。

今日は三位一体の大祝日です。この三位の意味を簡単に言うとどのような意味でしょうか？『父と子と聖霊』ですね。では一体はどうですか？ 体が一つという意味でしょうか？ 一体という言葉は、離れられない一つを意味します。

『三位一体』は、皆様が要理の勉強の時に、なかなか理解できない言葉だったと思います。そして私達が論理的にこの真理について理解することは不可能だと思います。三位一体の教えはただ信じることです。それは、イエス様がそのように説明されたからです。御父も御子もそして聖霊様もそれぞれ神様なものにもかかわらず唯一の神様を私達は信じているという理解しかこの人間の世界では出来ないと、思います。とにかくただ信じましょう。神様は『三位一体』の神様である事を信じましょう。

今日三位一体の神様の事を考えた時に頭に浮かんだ言葉は、『関係』という言葉でした。関係って何でしょうか。実際にいろいろな喜び・悲しみ・怒り等あらゆる感情は人との関係によって生じるものです。私達が生きる意味があるのか、無いのか、死んだ方がいいのか、生きていて良かったと言う感情的な心の働きがある事は関係の間で生じる心の働きではないかと思えます。

これから皆様に質問させていただきます。今私が言っている関係は悪い関係をいうことではありません。相手を生かしながら信仰を生かす関係、生きる意味を与える関係。この関係について質問します。「皆様は個人的に人との関係は上手だと思われるでしょうか？それとも上手では無いと思われるでしょうか？自分に会う人々を喜ばせる方でしょうか？自分の話に耳を傾けてくれるでしょうか？それとも自分の話には嫌な顔をして逃げようとするものではありませんか？」『関係』、もし自分が一生懸命に心をこめて関わっても相手が相手になってくれない人がいると思えます。その時、失望しないで下さい。むしろ、自分がどのような心でその人に近付いたが振り替えてみて下さい。本当に、真実な心でその人の為に頑張ったのかよく考えてみてください。心を込めて相手に何かをやろうとした時に相手は絶対に逃げられません。逃げたくても逃げる事は出来ないのです。これが人間関係ではないかと思えます。

今日『関係』という言葉の皆様に話している事を説明すると、三位一体の神様、その【三位】の関係について考えてみました。御父は自分勝手に自分の御旨を表す事が出来ませんでした。いつも"キリスト"(御自分の息子、御子)を通して御旨を表しました。そして御子である"キリスト"は「私は全ての事を御父の御旨に従います。」それは自分の考えで出る言葉は一つもありません。御父のみ旨によって、この世の中に表わし、果たします。そして、聖霊様も御子の要求に従って働かれるのです。結局『三位』の関係はお互いに自分を低くするその姿勢です。いつも相手を高める姿勢です。そのように『三位』は相手に対しての愛によって結ばれた関係ではないかと思えます。これは『三位一体』である神様は愛である神様を意味していることです。難しく言い表せば『三位一体』の神様は愛の原型、源だと思えます。三位一体を信じている私ならその方の生き方、振る舞い、御心の働きを見習わなければならないのです。結局、私達が天国に入れるかどうかは、関係をうまく作って来たのがどうかにかかっていると思えます。

皆様、よく理解して下さい。皆様に生き甲斐、やりがいを感じさせたことは関係の中だと思えます。うれしくて涙が出る時も関係によるものだったんでしょう。福音的な生活は自分が係わっているあらゆる関係の中で振り返ってみなくてはいけない事です。三位一体である神様が見せて下さった関係、その愛のまことの形、それを習いながら生きなくてはならないのです。まことの関係には愛があるか

らです。皆様の関係に愛があるかどうか考えてみてください。家族の関係も同じです。愛を込めて、愛の為に喜んでいるのか、悲しんでいるのか考えてみてください。愛がなかったら良い関係を作る事は出来ません。少しづつかって悲しい事が起こっても、お互いに愛があれば必ず乗り越えられます。これが関係のまことの意味だと思います。

妻の顔、夫の顔、子供の顔思い出して下さい。私達はどの位、関係について考えているか。

愛というものは必ず責任が付いてきます。責任を軽んじながら「私は愛しています。」と言えば、それは嘘です。そして、愛にはたまに付いて来るものが、もう一つあります。それは "犠牲" です。イエス様、聖霊様、御父が訴えながら教えていることは結局、愛の関係を作る事です。その為に一人子イエス・キリストがこの世の中に救い主として来られて十字架の道を歩まれたんでしょう。

今日の三位一体の祝日を迎えて、もう一度私達の間を黙想してみましよう。皆様が本当に幸せを求めようとしているのであれば、それは関係の中です。その関係が愛をこめた関係になるように努力しましょう。

ありがとうございました。